

PRESS RELEASE (2023/05/31)

「価値創造型半導体人材育成センター」を新設 ～新しい価値を創造する半導体スペシャリストの育成拠点～

九州大学は2023年6月1日、「価値創造型半導体人材育成センター」を開設します。このセンターでは、新しい価値を創造する「価値創造型半導体スペシャリスト」、すなわち、半導体・集積回路の材料、設計、製造のスペシャリストであると同時に、社会のニーズや、社会変革に求められる半導体・集積回路を理解し、それを半導体・集積回路の設計・製造に反映できる半導体のスペシャリストを育成します。

半導体はコンピュータやスマートフォンから家電製品、自動車、産業機器まで広く使われており、現在の産業や社会経済システムの中核をなすだけでなく、今後の社会課題解決や社会変革を実現する上で重要な鍵となるものです。これまでは、半導体微細加工技術の進展による性能の向上が行われてきましたが、この方向での性能向上は近い将来限界に達すると見られています。つまり、従来の延長線上ではない半導体・集積回路の性能向上技術の開発が急務です。また、社会課題解決や社会変革の実現のためには、真に必要な半導体・集積回路の把握とその開発が極めて重要です。言い換えると、良いものを作れば売れるという発想から、必要とされ売れるものを作るという発想への転換が必要です。

このことから、本センターは、半導体分野を専門とする理工系教員だけでなく、デザイン、ビジネス、起業に関する教育に携わる教員も結集して構成員としています。また、本センターが特徴とする教育を担当できる新規教員4名を採用する予定です。さらに、半導体関連の企業や他大学・高専とも連携して教育にあたります。これにより、学生は半導体の材料、設計、製造だけでなく、マーケティング、価値創造、社会課題解決についても学ぶことができます。さらに、近い将来、教育の対象は本学の人文社会系を含む学生、他大学・高専の学生、社会人にも拡げる予定です。

「価値創造型半導体人材育成センター」組織概要（教員数24名）

・半導体経営学部門・半導体社会実装学部門・半導体設計部門・半導体製造研究開発部門

